

千葉市感染症発生動向調査情報

2015年 第22週 (5/25-5/31) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		22週	21週	20週	19週
小児科		17	18	18	18
眼科		5	5	5	5
インフルエンザ*		26	27	27	27
基幹定点		1	1	1	1

上段:患者数
下段:定点当たりの患者数
「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	注意報	千葉市				千葉県
			5/25-5/31	5/18-5/24	5/11-5/17	5/4-5/10	5/18-5/24
			22週	21週	20週	19週	21週
小児科	RSウイルス感染症		1	1	2	1	7
	咽頭結膜熱		3	7	7	4	97
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	60	45	61	26	460
	感染性胃腸炎		102	113	93	46	730
	水痘		12	13	5	13	68
	手足口病	○	23	10	13	3	45
	伝染性紅斑		16	28	17	10	133
	突発性発しん	○	25	26	17	9	89
	百日咳		0	0	0	0	1
	ヘルパンギーナ		3	0	2	0	16
	流行性耳下腺炎		3	13	7	2	83
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		1	0	3	16	68
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	1
	流行性角結膜炎		4	4	3	3	25
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	1
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	4
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(7件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	40歳代	画像診断	結核	女性	40歳代	IGRA検査等
結核	男性	50歳代	IGRA検査	結核	女性	50歳代	IGRA検査等
結核	男性	80歳代	病原体遺伝子の検出	結核	女性	60歳代	IGRA検査等
結核	男性	80歳代	画像診断等	-	-	-	-

・結核7件(88)の報告があった。

※ ()内は2015年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

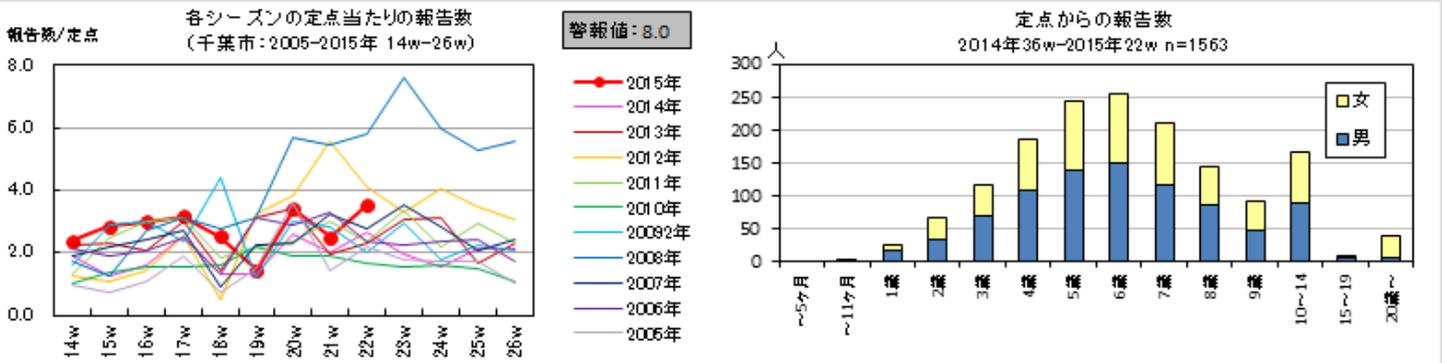
定点当たり報告数 第22週のコメント

- <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎> 前週より増加し3.53となった。過去10年の同時期と比べると多め。
- <手足口病> 前週より増加し1.35となった。過去10年の同時期と比べると多い。
- <突発性発しん> 前週より更に増加し1.47となった。過去10年の同時期と比べると最多。

■ トピック ■

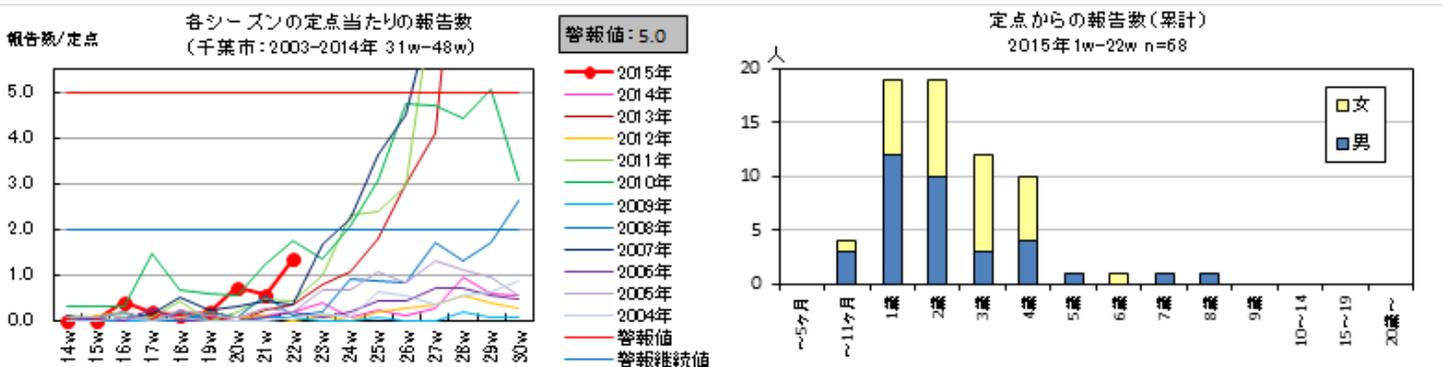
<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

全国レベルは、過去8年間の同時期と比べると第7週からほぼ連続して最多の状態推移しており、第21週現在も同様となっています。都道府県別では、鳥取県、鹿児島県、山形県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルとほぼ同レベルとなっています。千葉市の2015年第22週は、前週より増加し3.53となり、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況では、若葉区(8.0/定点)で流行発生警報開始基準値に達し最多で、同区の6歳で最も多く発生が報告されました。今シーズンである2014年第36週から2015年第22週現在の累積報告数(n=1563)によると、性別では男性が55.9%(873名)、女性が44.1%(690名)で、年齢階級別では6歳(16.4%:257名)、5歳(15.7%:245名)、7歳(13.4%:210名)の順に多くなっています。



<手足口病>

全国レベルの2015年第21週現在は、過去8年間の同時期と比べると最多となっています。都道府県別では、徳島県、鳥取県、香川県に多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると少なくなっています。千葉市の2015年第22週は、前週より増加し1.35となり、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況では、緑区(3.25/定点)で最多で、同区の1歳で最も多く発生が報告されました。今シーズンである2015年第1週から第22週現在の累積報告数(n=68)によると、性別では男性が51.5%(35名)、女性が48.5%(33名)で、年齢階級別では1歳及び2歳(共に27.9%:19名)、3歳(17.6%:12名)の順に多くなっています。



<突発性発しん>

全国レベルの2015年第21週現在は、過去8年間の同時期と比べると最多となっています。都道府県別では、佐賀県、大分県、愛媛県及び宮崎県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると同じレベルとなっています。千葉市の2015年第22週は、前週より増加し1.47となり、過去10年の同時期と比べると最多となっています。区別の発生状況では、稲毛区(3.67/定点)で最多で、同区の1歳で最も多く発生が報告されました。今シーズンである2015年第1週から第22週現在の累積報告数(n=266)によると、性別では男性が50.4%(134名)、女性が49.6%(132名)で、年齢階級別では1歳(55.3%:147名)、6-11ヶ月齢(24.4%:65名)、2歳(10.9%:29名)の順に多くなっています。

